

こんしゅう ひょう にん
今週のことば「病人」

せいしょ ふくいんしょ
《聖書》ルカによる福音書 17:11-19

ひょう にん
病人

ちほり まわ
イエスはガリラヤ地方を回っていたあ
いだに、たくさん病人をおしました。
きょう ふくいん きじ さいし
今日の福音の記事で、イエスが「祭司た
ちのところに行って、体を見せなさい」
い からだみ
と言ったのは、その当時の習慣として、
おも ひよ ひょう さいし
重い皮膚病がおると、祭司のところへ
い こと しょうめい
行って、おった事を証明してもらわな
ければいけなかったのです。つまり、祭
し おも ひよ ひょう こと
司のところで、重い皮膚病がおった事
じょうめい はじ まも なか おお
を証明してもらって初めて、街の中を大
かね ある
きな顔をして歩けるようになります。
じだい いま いがく しん
イエスの時代は、今のように医学が進
は ひと ひと ひょうき
歩していなかったので、人が病気になる
ひと なに わる こと わる れい
と、その人が何か悪い事をして悪い靈が
かんが いま ひょうけん
ついたと考えていました。今なら、病原
きん ひと はい ひょうき かんが
菌がその人に入つて病気になったと考え
ます。

いやし

ひょうにん こと
イエスが病人をいやされた事は、ただ
ひょうき こと
病気をなおす事だけではなかったのです。
ひょうき げんいん つみ
病気の原因である罪のゆるしがともなっ
ていきました。イエスが病気をいやされた
ふしき おこ ひとびと
のはただ不思議なわざを行なつて人々を
ひきつけるためでなく、病人が一人の人
げん しゃかい なか おおやけ せいかつ こと
間として社会の中で公に生活できる事を
ねが
願っていたのです。
げんだい たし いがく はつたつ いろ ひょう
現代では確かに医学が発達し色々な病
き い
気がなおされています。でも、たとえ医
がくてき けんこう ひと ひと ひょうき
学的に健康な人でもたくさんの人が病気
ひょうき げんいん まわ ひと
のままです。病気の原因は、回りの人が
ひと ひとり にんげん たいせつ
その人を一人の人間として大切にあつか
こと いま しゃかい
っていい事なのです。今の社会ではじ
にもつ かんが
やまもの、お荷物として考えられていま
ひと
すから、その人のいやしはありえないの
です。
わたし おな ひょうき
私たちがイエスと同じように病気など
くろ ひと まじ とき
で苦しんでいる人たちと交わる時いやし
じつげん
は実現されます。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきの
年間第28主日C年(滝野)